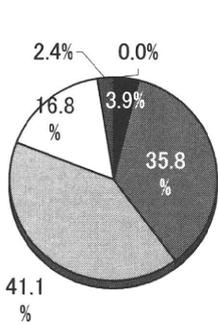


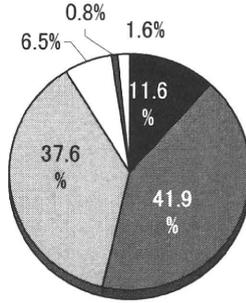
4年生の回答 (n = 6,821)

教員の回答 (n = 372)

人体のエネルギーバランスや各栄養素の働きや代謝を理解し、説明を行う〔4年生用 問13、教員用 問9〕

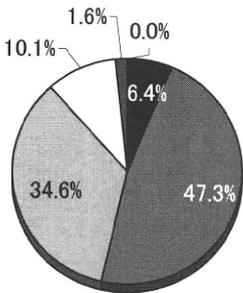


回答	%
十分にできる	3.9
できる	35.8
どちらともいえない	41.1
できない	16.8
全くできない	2.4
無回答	0.0

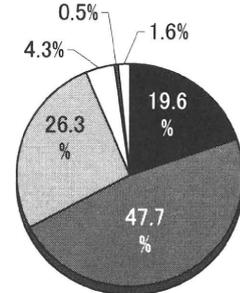


回答	%
ほぼ全員ができる	11.6
かなりの学生ができる	41.9
約半数の学生ができる	37.6
かなりの学生ができない	6.5
ほぼ全員ができない	0.8
無回答	1.6

食品成分・特性について理解し、献立作成や調理を行う〔4年生用 問14、教員用 問10〕

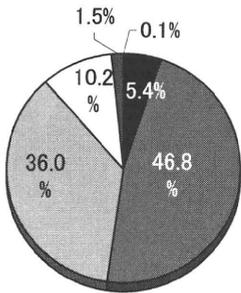


回答	%
十分にできる	6.4
できる	47.3
どちらともいえない	34.6
できない	10.1
全くできない	1.6
無回答	0.0

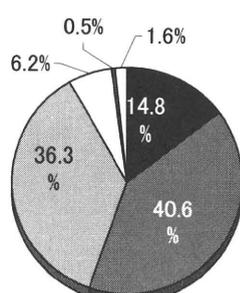


回答	%
ほぼ全員ができる	19.6
かなりの学生ができる	47.7
約半数の学生ができる	26.3
かなりの学生ができない	4.3
ほぼ全員ができない	0.5
無回答	1.6

対象者のライフステージ・ライフスタイル・嗜好・摂食機能等に応じた献立を作成する〔4年生用 問15、教員用 問11〕

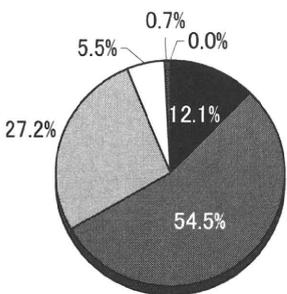


回答	%
十分にできる	5.4
できる	46.8
どちらともいえない	36.0
できない	10.2
全くできない	1.5
無回答	0.1

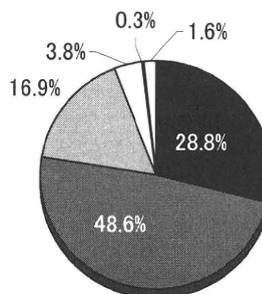


回答	%
ほぼ全員ができる	14.8
かなりの学生ができる	40.6
約半数の学生ができる	36.3
かなりの学生ができない	6.2
ほぼ全員ができない	0.5
無回答	1.6

食中毒予防など、適切な衛生管理を行う〔4年生用 問16、教員用 問12〕



回答	%
十分にできる	12.1
できる	54.5
どちらともいえない	27.2
できない	5.5
全くできない	0.7
無回答	0.0



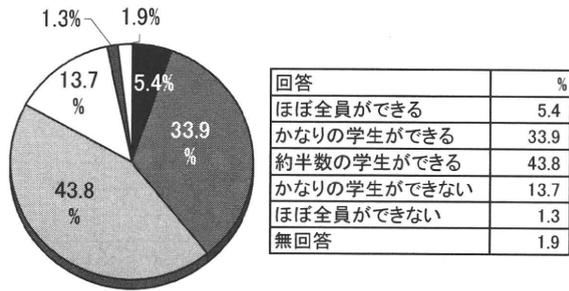
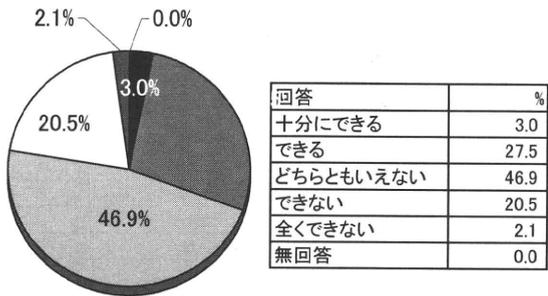
回答	%
ほぼ全員ができる	28.8
かなりの学生ができる	48.6
約半数の学生ができる	16.9
かなりの学生ができない	3.8
ほぼ全員ができない	0.3
無回答	1.6

図5-3 共通・職域別コンピテンシーの到達度に関する4年生と教員の回答の比較〔3〕

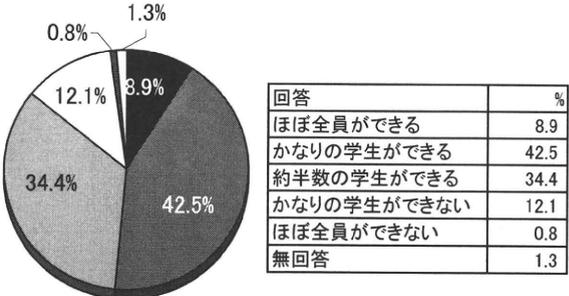
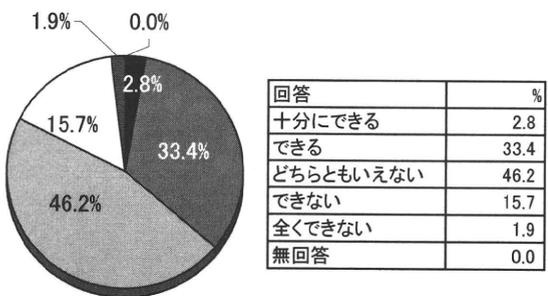
4年生の回答 (n = 6,821)

教員の回答 (n = 372)

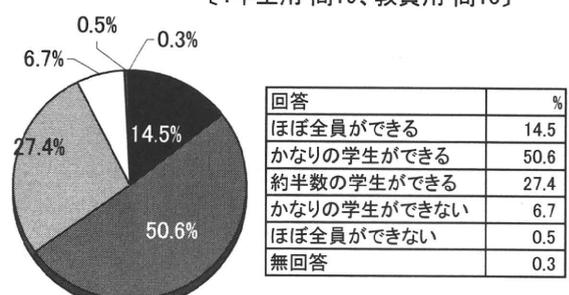
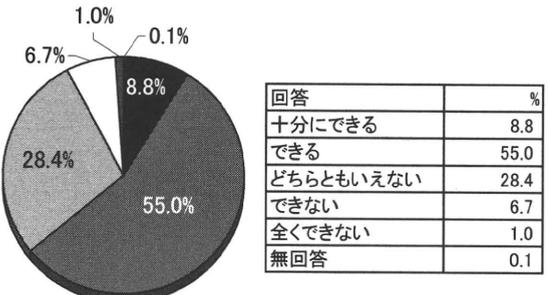
食品の規格基準、安全に関する法規や制度を理解し、健康被害を防止するための説明を行う〔4年生用 問17、教員用 問13〕



保健・医療・福祉・健康づくりに関する法規や制度の現状を把握する〔4年生用 問18、教員用 問14〕



対象者(対象集団)のエネルギーや栄養素の摂取の過不足を防ぐため、食事摂取基準を活用する〔4年生用 問19、教員用 問15〕



食品成分表の特性を理解し、献立作成や栄養教育に活用する〔4年生用 問20、教員用 問16〕

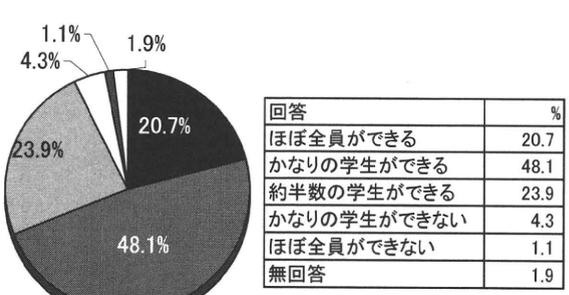
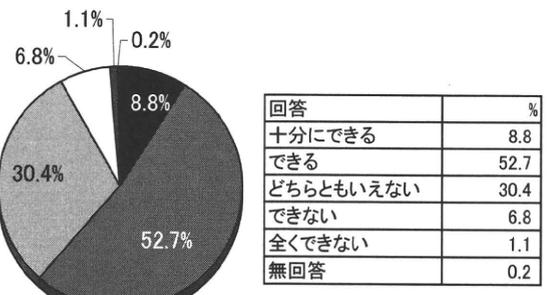
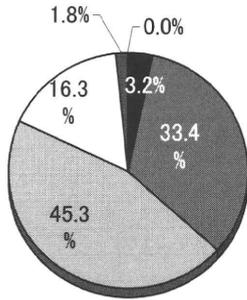


図5-4 共通・職域別コンピテンシーの到達度に関する4年生と教員の回答の比較〔4〕

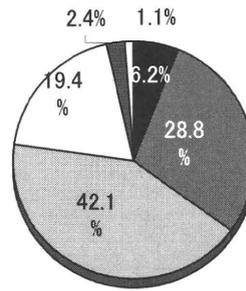
4年生の回答 (n = 6,821)

教員の回答 (n = 372)

対象者の行動変容を促すために、行動科学の理論やモデルを活用する〔4年生用 問21、教員用 問17〕

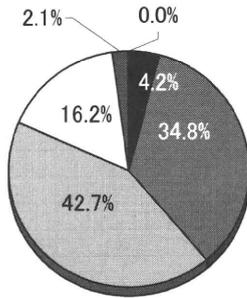


回答	%
十分にできる	3.2
できる	33.4
どちらともいえない	45.3
できない	16.3
全くできない	1.8
無回答	0.0

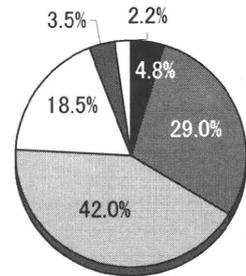


回答	%
ほぼ全員ができる	6.2
かなりの学生ができる	28.8
約半数の学生ができる	42.1
かなりの学生ができない	19.4
ほぼ全員ができない	2.4
無回答	1.1

対象者の状況を受容し、行動変容を促すために、カウンセリングのスキルを活用する〔4年生用 問22、教員用 問18〕

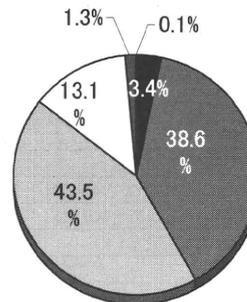


回答	%
十分にできる	4.2
できる	34.8
どちらともいえない	42.7
できない	16.2
全くできない	2.1
無回答	0.0

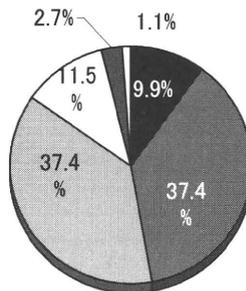


回答	%
ほぼ全員ができる	4.8
かなりの学生ができる	29.0
約半数の学生ができる	42.0
かなりの学生ができない	18.5
ほぼ全員ができない	3.5
無回答	2.2

目的や対象者に応じた食事調査法を選択・実施し、アセスメントに用いる〔4年生用 問23、教員用 問19〕

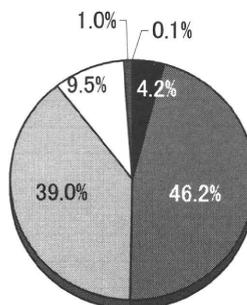


回答	%
十分にできる	3.4
できる	38.6
どちらともいえない	43.5
できない	13.1
全くできない	1.3
無回答	0.1

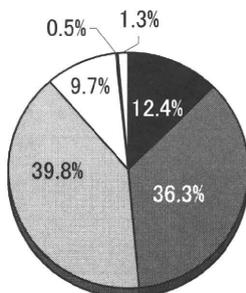


回答	%
ほぼ全員ができる	9.9
かなりの学生ができる	37.4
約半数の学生ができる	37.4
かなりの学生ができない	11.5
ほぼ全員ができない	2.7
無回答	1.1

対象者・喫食者の食に関する知識、態度、行動をアセスメントする〔4年生用 問24、教員用 問20〕



回答	%
十分にできる	4.2
できる	46.2
どちらともいえない	39.0
できない	9.5
全くできない	1.0
無回答	0.1



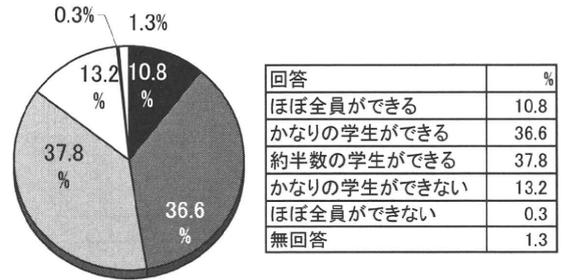
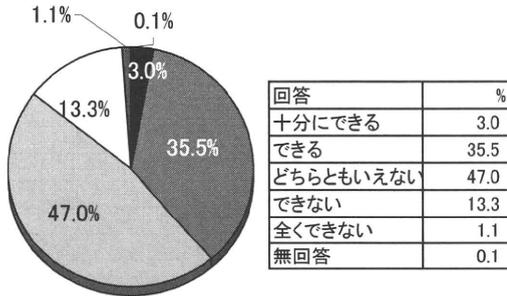
回答	%
ほぼ全員ができる	12.4
かなりの学生ができる	36.3
約半数の学生ができる	39.8
かなりの学生ができない	9.7
ほぼ全員ができない	0.5
無回答	1.3

図5-5 共通・職域別コンピテンシーの到達度に関する4年生と教員の回答の比較〔5〕

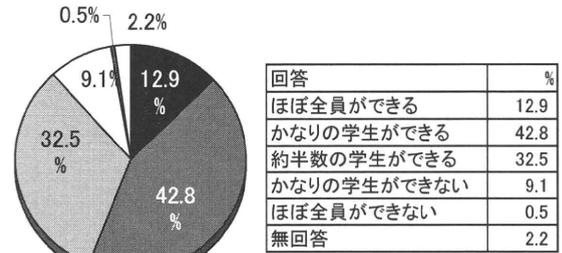
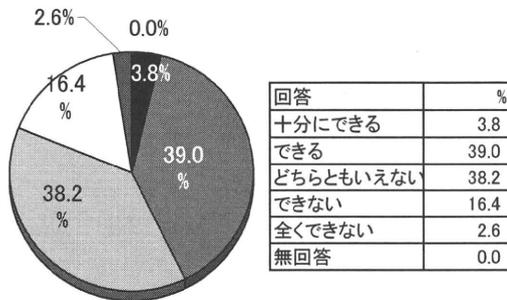
4年生の回答 (n = 6,821)

教員の回答 (n = 372)

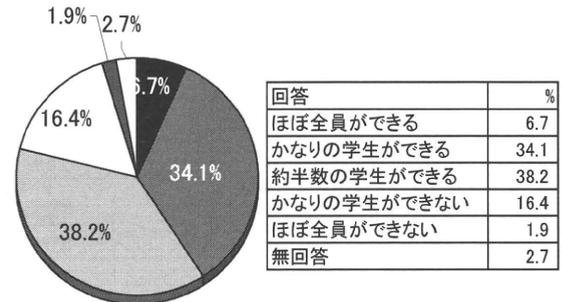
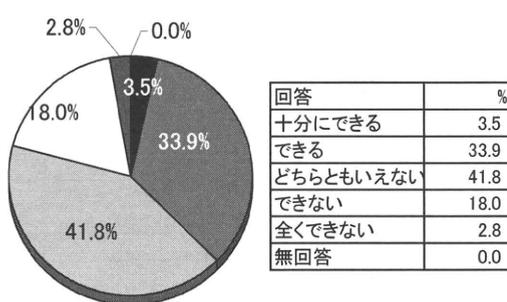
対象者の身体状況や目的に応じたアセスメント方法を選択し、実施する〔4年生用 問25、教員用 問21〕



血液及び尿中の代表的な生化学成分値を判定し、アセスメントに用いる〔4年生用 問26、教員用 問22〕



問診、カルテ、看護記録やバイタルサインなどの情報をアセスメントに活用する〔4年生用 問27、教員用 問23〕



アセスメントの結果から食生活の改善すべき課題を抽出する〔4年生用 問28、教員用 問24〕

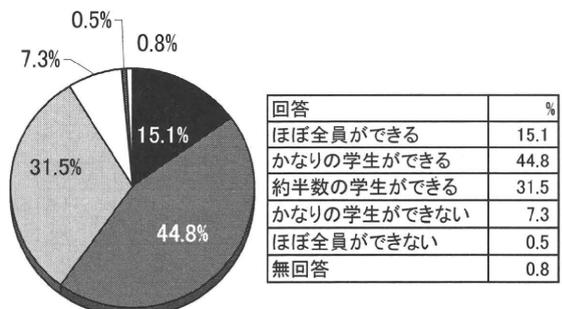
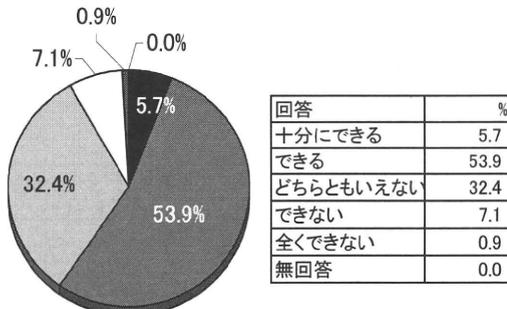
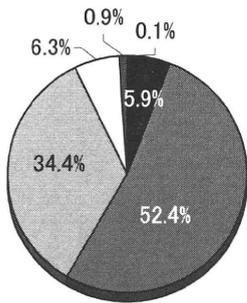


図5-6 共通・職域別コンピテンシーの到達度に関する4年生と教員の回答の比較〔6〕

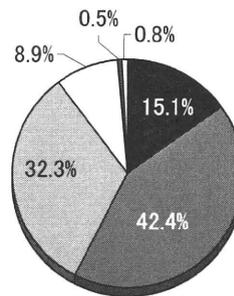
4年生の回答 (n = 6,821)

教員の回答 (n = 372)

課題の中から優先順位を決定し、食生活改善のための目標を設定する〔4年生用 問29、教員用 問25〕

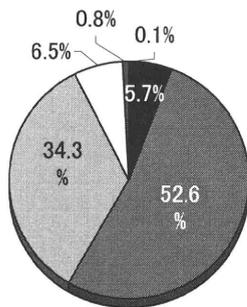


回答	%
十分にできる	5.9
できる	52.4
どちらともいえない	34.4
できない	6.3
全くできない	0.9
無回答	0.1

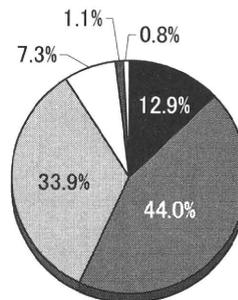


回答	%
ほぼ全員ができる	15.1
かなりの学生ができる	42.4
約半数の学生ができる	32.3
かなりの学生ができない	8.9
ほぼ全員ができない	0.5
無回答	0.8

食生活改善のための目標の達成に向けた計画を立てる〔4年生用 問30、教員用 問26〕

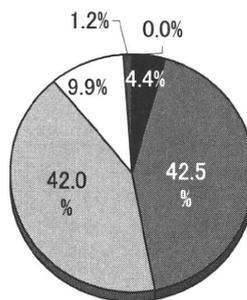


回答	%
十分にできる	5.7
できる	52.6
どちらともいえない	34.3
できない	6.5
全くできない	0.8
無回答	0.1

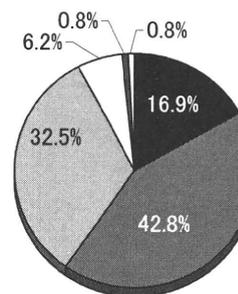


回答	%
ほぼ全員ができる	12.9
かなりの学生ができる	44.0
約半数の学生ができる	33.9
かなりの学生ができない	7.3
ほぼ全員ができない	1.1
無回答	0.8

対象者のライフステージやライフスタイルに応じた栄養教育を実施する〔4年生用 問31、教員用 問27〕

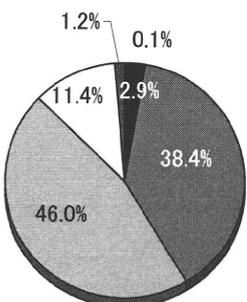


回答	%
十分にできる	4.4
できる	42.5
どちらともいえない	42.0
できない	9.9
全くできない	1.2
無回答	0.0

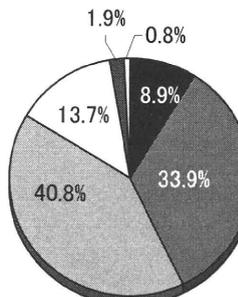


回答	%
ほぼ全員ができる	16.9
かなりの学生ができる	42.8
約半数の学生ができる	32.5
かなりの学生ができない	6.2
ほぼ全員ができない	0.8
無回答	0.8

計画実施中や実施後の経過をモニタリングし、評価を行う〔4年生用 問32、教員用 問28〕



回答	%
十分にできる	2.9
できる	38.4
どちらともいえない	46.0
できない	11.4
全くできない	1.2
無回答	0.1



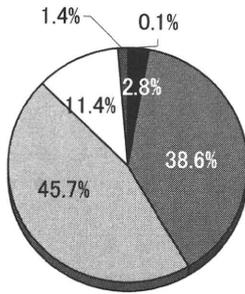
回答	%
ほぼ全員ができる	8.9
かなりの学生ができる	33.9
約半数の学生ができる	40.8
かなりの学生ができない	13.7
ほぼ全員ができない	1.9
無回答	0.8

図5-7 共通・職域別コンピテンシーの到達度に関する4年生と教員の回答の比較〔7〕

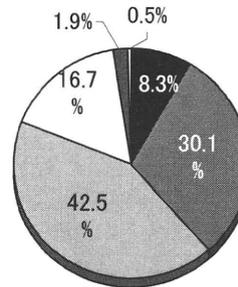
4年生の回答 (n = 6,821)

教員の回答 (n = 372)

評価に基づき、必要な計画の見直しと修正を行う〔4年生用 問33、教員用 問29〕

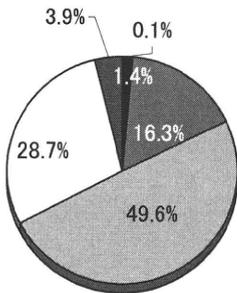


回答	%
十分に見える	2.8
できる	38.6
どちらともいえない	45.7
できない	11.4
全くできない	1.4
無回答	0.1

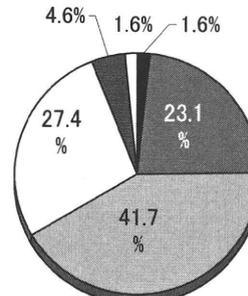


回答	%
ほぼ全員ができる	8.3
かなりの学生ができる	30.1
約半数の学生ができる	42.5
かなりの学生ができない	16.7
ほぼ全員ができない	1.9
無回答	0.5

疫学的な考え方に基づき、地域のアセスメントをする〔4年生用 問34、教員用 問30〕

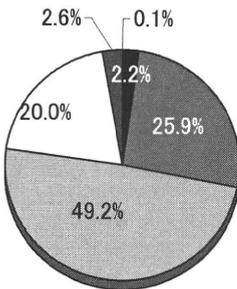


回答	%
十分に見える	1.4
できる	16.3
どちらともいえない	49.6
できない	28.7
全くできない	3.9
無回答	0.1

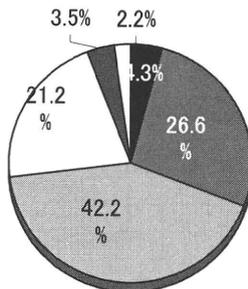


回答	%
ほぼ全員ができる	1.6
かなりの学生ができる	23.1
約半数の学生ができる	41.7
かなりの学生ができない	27.4
ほぼ全員ができない	4.6
無回答	1.6

地域の栄養課題を解決するのに必要な社会資源を把握する〔4年生用 問35、教員用 問31〕

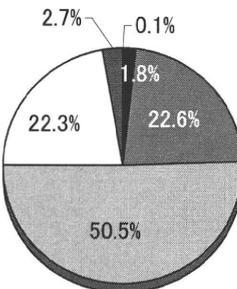


回答	%
十分に見える	2.2
できる	25.9
どちらともいえない	49.2
できない	20.0
全くできない	2.6
無回答	0.1

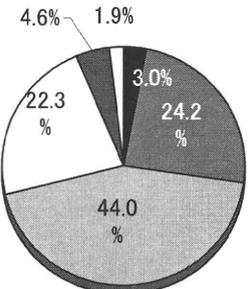


回答	%
ほぼ全員ができる	4.3
かなりの学生ができる	26.6
約半数の学生ができる	42.2
かなりの学生ができない	21.2
ほぼ全員ができない	3.5
無回答	2.2

地域の栄養課題を解決するために、ヘルスプロモーション、食環境整備の観点を含めて改善計画を立てる〔4年生用 問36、教員用 問32〕



回答	%
十分に見える	1.8
できる	22.6
どちらともいえない	50.5
できない	22.3
全くできない	2.7
無回答	0.1



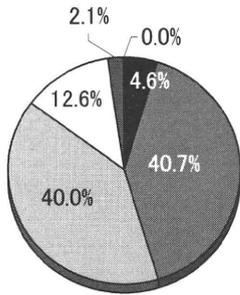
回答	%
ほぼ全員ができる	3.0
かなりの学生ができる	24.2
約半数の学生ができる	44.0
かなりの学生ができない	22.3
ほぼ全員ができない	4.6
無回答	1.9

図5-8 共通・職域別コンピテンシーの到達度に関する4年生と教員の回答の比較〔8〕

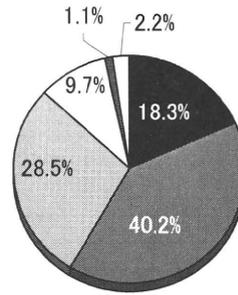
4年生の回答 (n = 6,821)

教員の回答 (n = 372)

医療における専門職種の役割を理解し、管理栄養士の役割について説明を行う〔4年生用 問37、教員用 問33〕

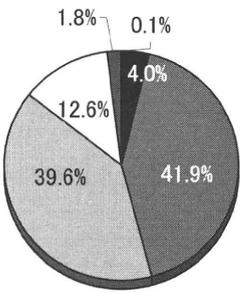


回答	%
十分にできる	4.6
できる	40.7
どちらともいえない	40.0
できない	12.6
全くできない	2.1
無回答	0.0

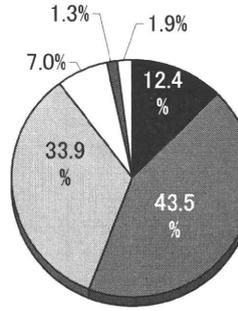


回答	%
ほぼ全員ができる	18.3
かなりの学生ができる	40.2
約半数の学生ができる	28.5
かなりの学生ができない	9.7
ほぼ全員ができない	1.1
無回答	2.2

患者の病状や栄養状態に応じた献立作成や食事形態の提案を行う〔4年生用 問38、教員用 問34〕

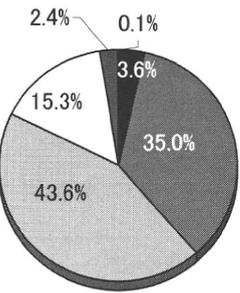


回答	%
十分にできる	4.0
できる	41.9
どちらともいえない	39.6
できない	12.6
全くできない	1.8
無回答	0.1

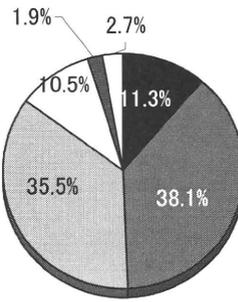


回答	%
ほぼ全員ができる	12.4
かなりの学生ができる	43.5
約半数の学生ができる	33.9
かなりの学生ができない	7.0
ほぼ全員ができない	1.3
無回答	1.9

患者の病状や栄養状態に応じた栄養指導を行う〔4年生用 問39、教員用 問35〕

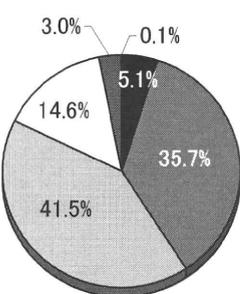


回答	%
十分にできる	3.6
できる	35.0
どちらともいえない	43.6
できない	15.3
全くできない	2.4
無回答	0.1

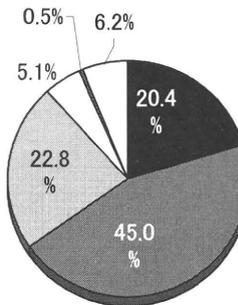


回答	%
ほぼ全員ができる	11.3
かなりの学生ができる	38.1
約半数の学生ができる	35.5
かなりの学生ができない	10.5
ほぼ全員ができない	1.9
無回答	2.7

多数の人々への食事提供(発注、購買、検収、保管、大量調理、衛生管理等)を行う〔4年生用 問40、教員用 問36〕



回答	%
十分にできる	5.1
できる	35.7
どちらともいえない	41.5
できない	14.6
全くできない	3.0
無回答	0.1



回答	%
ほぼ全員ができる	20.4
かなりの学生ができる	45.0
約半数の学生ができる	22.8
かなりの学生ができない	5.1
ほぼ全員ができない	0.5
無回答	6.2

図5-9 共通・職域別コンピテンシー の到達度に関する4年生と教員の回答の比較〔9〕

表8 共通・職域別コンピテンシー到達度に関する主担当科目別教員の評価
 (「かなりの学生ができる」+「ほぼ全員ができる」)

No.	質問内容	教員の担当科目別				
		全員 (主担当科目不明者 8人を含む)	栄養教育論 n=91	臨床栄養学 n=92	公衆栄養学 n=92	給食経営管理論 n=89
1	コミュニケーションによって、良好な人間関係やネットワークを築く	72.8%	69.2%	69.6%	78.3%	73.0%
2	自分に与えられた役割を認識し、他の職種と相互理解しながら協働する	56.5%	52.7%	54.3%	55.4%	61.8%
3	患者・クライアント・住民への倫理的配慮(人権の尊重、インフォームドコンセント、個人情報保護)を行う	57.5%	57.1%	62.0%	55.4%	56.2%
4	健康・栄養に関する統計情報を収集し、現状を把握する	44.6%	45.1%	40.2%	47.8%	43.8%
5	関連分野の論文・報告書などからエビデンスに基づき情報を入力し、活用する	32.3%	34.1%	33.7%	31.5%	29.2%
6	社会における医療・栄養問題や食料・環境問題に関する情報を集める	56.5%	61.5%	46.7%	58.7%	58.4%
7	個人や地域の栄養課題の解決のために、調査研究を計画・実施する	28.2%	33.0%	25.0%	23.9%	31.5%
8	調査研究により得られたデータについて、適切な集計・統計方法を選択し、解析する	22.0%	20.9%	20.7%	23.9%	22.5%
9	人体のエネルギー・バランスや各栄養素の働きや代謝を理解し、説明を行う	53.5%	58.2%	52.2%	51.1%	53.9%
10	食品成分・特性について理解し、献立作成や調理を行う	67.2%	69.2%	64.1%	67.4%	68.5%
11	対象者のライフステージ・ライフスタイル・嗜好・摂食機能等に応じた献立を作成する	55.4%	54.9%	50.0%	55.4%	60.7%
12	食中毒予防など、適切な衛生管理を行う	77.4%	67.0%	81.5%	73.9%	87.6%
13	食品の規格基準、安全に関する法規や制度を理解し、健康被害を防止するための説明を行う	39.2%	37.4%	40.2%	37.0%	40.4%
14	保健・医療・福祉・健康づくりに関する法規や制度の現状を把握する	51.3%	53.8%	56.5%	46.7%	47.2%
15	対象者(対象集団)のエネルギーや栄養素の摂取の過不足を防ぐため、食事摂取基準を活用する	65.1%	63.7%	70.7%	59.8%	67.4%
16	食品成分表の特性を理解し、献立作成や栄養教育に活用する	68.8%	70.3%	67.4%	66.3%	71.9%
17	対象者の行動変容を促すために、行動科学の理論やモデルを活用する	34.9%	37.4%	38.0%	33.7%	30.3%
18	対象者の状況を受容し、行動変容を促すために、カウンセリングのスキルを活用する	33.9%	39.6%	35.9%	34.8%	25.8%
19	目的や対象者に応じた食事調査法を選択・実施し、アセスメントに用いる	47.3%	52.7%	47.8%	43.5%	46.1%
20	対象者・喫食者の食に関する知識、態度、行動をアセスメントする	48.7%	50.5%	47.8%	46.7%	49.4%
21	対象者の身体状況や目的に応じたアセスメント方法を選択し、実施する	47.3%	45.1%	59.8%	44.6%	41.6%
22	血液及び尿中の代表的な生化学成分値を判定し、アセスメントに用いる	55.6%	56.0%	66.2%	47.8%	52.8%
23	問診、カルテ、看護記録やバイタルサインなどの情報をアセスメントに活用する	40.9%	40.7%	56.5%	34.8%	31.5%
24	アセスメントの結果から食生活の改善すべき課題を抽出する	59.9%	63.7%	68.5%	58.7%	48.3%

注)太字斜体が最高値

表8(続き) 共通・職域別コンピテンシー到達度に関する主担当科目別教員の評価
 (「かなりの学生ができる」+「ほぼ全員ができる」%)

No.	質問内容	教員の担当科目別				
		全員 (主担当科目不明者 8人を含む)	栄養教育論 n=91	臨床栄養学 n=92	公衆栄養学 n=92	給食経営管理論 n=89
25	課題の中から優先順位を決定し、食生活改善のための目標を設定する	かなりの学生ができる + ほぼ全員ができる	かなりの学生ができる + ほぼ全員ができる	かなりの学生ができる + ほぼ全員ができる	かなりの学生ができる + ほぼ全員ができる	かなりの学生ができる + ほぼ全員ができる
26	食生活改善のための目標の達成に向けた計画を立てる	57.0%	52.7%	69.6%	59.8%	46.1%
27	対象者のライフステージやライフスタイルに応じた栄養教育を実施する	59.7%	61.5%	59.8%	60.9%	57.3%
28	計画実施中や実施後の経過をモニタリングし、評価を行う	42.7%	41.8%	48.9%	38.0%	42.7%
29	評価に基づき、必要な計画の見直しと修正を行う	38.4%	36.3%	46.7%	38.0%	34.8%
30	疫学的な考え方に基づき、地域のアセスメントをする	24.7%	22.0%	27.2%	25.0%	24.7%
31	地域の栄養課題を解決するのに必要な社会資源を把握する	30.9%	29.7%	30.4%	37.0%	25.8%
32	地域の栄養課題を解決するために、ヘルスプロモーション、食環境整備の観点を含めて改善計画を立てる	27.2%	18.7%	22.8%	40.2%	27.0%
33	医療における専門職種の役割を理解し、管理栄養士の役割について説明を行う	58.6%	53.8%	71.7%	55.4%	55.1%
34	患者の病状や栄養状態に応じた献立作成や食事形態の提案を行う	55.9%	50.5%	67.4%	54.3%	50.6%
35	患者の病状や栄養状態に応じた栄養指導を行う	49.5%	44.0%	56.5%	48.9%	48.3%
36	多数の人々への食事提供(発注、購買、検収、保管、大量調理、衛生管理等)を行う	65.3%	56.0%	60.9%	60.9%	80.9%

注) 太字斜体が最高値

学生に関するデータ

附表1 学生の自己評価によるコンピテンシー達成度の分布(性別)

			全員 (性別不明者28人を含む)		性別			
			人数		女性		男性	
			6821		6150		643	
No.	質問内容	回答内容	回答数	パーセンテージ	回答数	パーセンテージ	回答数	パーセンテージ
1	管理栄養士という職業に就くことを誇りに思う	全くそう思わない	158	2.3%	120	2.0%	35	5.4%
		そう思わない	422	6.2%	367	6.0%	53	8.2%
		どちらともいえない	1469	21.5%	1302	21.2%	159	24.7%
		そう思う	3151	46.2%	2898	47.1%	243	37.8%
		かなりそう思う	1620	23.8%	1462	23.8%	153	23.8%
		無回答	1	0.0%	1	0.0%	0	0.0%
2	自分は、管理栄養士という職業に向いている	全くそう思わない	403	5.9%	347	5.6%	50	7.8%
		そう思わない	1338	19.6%	1210	19.7%	126	19.6%
		どちらともいえない	3544	52.0%	3215	52.3%	314	48.8%
		そう思う	1319	19.3%	1200	19.5%	115	17.9%
		かなりそう思う	216	3.2%	177	2.9%	38	5.9%
		無回答	1	0.0%	1	0.0%	0	0.0%
3	食を通して人々の健康と幸せに寄与したい	全くそう思わない	118	1.7%	98	1.6%	18	2.8%
		そう思わない	160	2.3%	132	2.1%	26	4.0%
		どちらともいえない	401	5.9%	342	5.6%	54	8.4%
		そう思う	2745	40.2%	2482	40.4%	255	39.7%
		かなりそう思う	3395	49.8%	3094	50.3%	290	45.1%
		無回答	2	0.0%	2	0.0%	0	0.0%
4	管理栄養士としての専門的な知識と技術を向上させたい	全くそう思わない	129	1.9%	108	1.8%	19	3.0%
		そう思わない	219	3.2%	192	3.1%	25	3.9%
		どちらともいえない	678	9.9%	597	9.7%	74	11.5%
		そう思う	2566	37.6%	2350	38.2%	207	32.2%
		かなりそう思う	3227	47.3%	2903	47.2%	316	49.1%
		無回答	2	0.0%	0	0.0%	2	0.3%
5	コミュニケーションによって、良好な人間関係やネットワークを築く	全くできない	76	1.1%	60	1.0%	14	2.2%
		できない	403	5.9%	354	5.8%	47	7.3%
		どちらともいえない	1786	26.2%	1608	26.1%	168	26.1%
		できる	3619	53.1%	3318	54.0%	292	45.4%
		十分にできる	868	12.7%	750	12.2%	113	17.6%
		無回答	69	1.0%	60	1.0%	9	1.4%
6	自分に与えられた役割を認識し、他の職種と相互理解しながら協働する	全くできない	40	0.6%	34	0.6%	6	0.9%
		できない	308	4.5%	267	4.3%	40	6.2%
		どちらともいえない	1866	27.4%	1678	27.3%	176	27.4%
		できる	3941	57.8%	3598	58.5%	331	51.5%
		十分にできる	663	9.7%	571	9.3%	89	13.8%
		無回答	3	0.0%	2	0.0%	1	0.2%
7	患者・クライアント・住民への倫理的配慮(人権の尊重、インフォームドコンセント、個人情報保護)を行う	全くできない	70	1.0%	60	1.0%	10	1.6%
		できない	456	6.7%	407	6.6%	47	7.3%
		どちらともいえない	1856	27.2%	1691	27.5%	157	24.4%
		できる	3338	48.9%	3031	49.3%	295	45.9%
		十分にできる	1100	16.1%	961	15.6%	134	20.8%
		無回答	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8	健康・栄養に関する統計情報を収集し、現状を把握する	全くできない	112	1.6%	98	1.6%	13	2.0%
		できない	997	14.6%	904	14.7%	91	14.2%
		どちらともいえない	2965	43.5%	2681	43.6%	273	42.5%
		できる	2473	36.3%	2232	36.3%	228	35.5%
		十分にできる	273	4.0%	235	3.8%	37	5.8%
		無回答	1	0.0%	0	0.0%	1	0.2%
9	関連分野の論文・報告書などからエビデンスに基づく情報を入手し、活用する	全くできない	190	2.8%	167	2.7%	23	3.6%
		できない	1375	20.2%	1259	20.5%	110	17.1%
		どちらともいえない	3005	44.1%	2733	44.4%	261	40.6%
		できる	2023	29.7%	1807	29.4%	206	32.0%
		十分にできる	228	3.3%	184	3.0%	43	6.7%
		無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

附表1(続き) 学生の自己評価によるコンピテンシー達成度の分布(性別)

No.	質問内容	回答内容	全員		性別			
			(性別不明者28人を含む)		女性		男性	
			人数	6821	6150	643		
		回答数	パーセンテージ	回答数	パーセンテージ	回答数	パーセンテージ	
10	社会における医療・栄養問題や食料・環境問題に関する情報を集める	全くできない	84	1.2%	67	1.1%	16	2.5%
		できない	667	9.8%	593	9.6%	72	11.2%
		どちらともいえない	2363	34.6%	2132	34.7%	221	34.4%
		できる	3329	48.8%	3030	49.3%	288	44.8%
		十分にできる	374	5.5%	325	5.3%	45	7.0%
		無回答	4	0.1%	3	0.0%	1	0.2%
11	個人や地域の栄養課題の解決のために、調査研究を計画・実施する	全くできない	245	3.6%	220	3.6%	24	3.7%
		できない	1440	21.1%	1309	21.3%	127	19.8%
		どちらともいえない	3250	47.6%	2957	48.1%	278	43.2%
		できる	1731	25.4%	1544	25.1%	180	28.0%
		十分にできる	154	2.3%	119	1.9%	34	5.3%
		無回答	1	0.0%	1	0.0%	0	0.0%
12	調査研究により得られたデータについて、適切な集計・統計方法を選択し、解析する	全くできない	331	4.9%	293	4.8%	36	5.6%
		できない	1809	26.5%	1650	26.8%	152	23.6%
		どちらともいえない	3035	44.5%	2766	45.0%	255	39.7%
		できる	1515	22.2%	1336	21.7%	175	27.2%
		十分にできる	128	1.9%	102	1.7%	25	3.9%
		無回答	3	0.0%	3	0.0%	0	0.0%
13	人体のエネルギーバランスや各栄養素の働きや代謝を理解し、説明を行う	全くできない	165	2.4%	144	2.3%	20	3.1%
		できない	1146	16.8%	1052	17.1%	92	14.3%
		どちらともいえない	2807	41.2%	2565	41.7%	229	35.6%
		できる	2439	35.8%	2180	35.4%	249	38.7%
		十分にできる	264	3.9%	209	3.4%	53	8.2%
		無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
14	食品成分・特性について理解し、献立作成や調理を行う	全くできない	107	1.6%	81	1.3%	25	3.9%
		できない	688	10.1%	590	9.6%	95	14.8%
		どちらともいえない	2359	34.6%	2141	34.8%	207	32.2%
		できる	3232	47.4%	2956	48.1%	265	41.2%
		十分にできる	434	6.4%	381	6.2%	51	7.9%
		無回答	1	0.0%	1	0.0%	0	0.0%
15	対象者のライフステージ・ライフスタイル・嗜好・摂食機能等に応じた献立を作成する	全くできない	104	1.5%	81	1.3%	23	3.6%
		できない	698	10.2%	612	10.0%	83	12.9%
		どちらともいえない	2453	36.0%	2204	35.8%	239	37.2%
		できる	3191	46.8%	2925	47.6%	255	39.7%
		十分にできる	371	5.4%	326	5.3%	41	6.4%
		無回答	4	0.1%	2	0.0%	2	0.3%
16	食中毒予防など、適切な衛生管理を行う	全くできない	48	0.7%	45	0.7%	3	0.5%
		できない	372	5.5%	312	5.1%	58	9.0%
		どちらともいえない	1858	27.2%	1672	27.2%	177	27.5%
		できる	3717	54.5%	3394	55.2%	310	48.2%
		十分にできる	823	12.1%	724	11.8%	95	14.8%
		無回答	3	0.0%	3	0.0%	0	0.0%
17	食品の規格基準、安全に関する法規や制度を理解し、健康被害を防止するための説明を行う	全くできない	145	2.1%	132	2.1%	13	2.0%
		できない	1395	20.5%	1267	20.6%	123	19.1%
		どちらともいえない	3194	46.8%	2903	47.2%	278	43.2%
		できる	1877	27.5%	1677	27.3%	193	30.0%
		十分にできる	207	3.0%	168	2.7%	36	5.6%
		無回答	3	0.0%	3	0.0%	0	0.0%
18	保健・医療・福祉・健康づくりに関する法規や制度の現状を把握する	全くできない	133	1.9%	108	1.8%	25	3.9%
		できない	1069	15.7%	964	15.7%	102	15.9%
		どちらともいえない	3152	46.2%	2832	46.0%	308	47.9%
		できる	2276	33.4%	2084	33.9%	180	28.0%
		十分にできる	189	2.8%	160	2.6%	28	4.4%
		無回答	2	0.0%	2	0.0%	0	0.0%

附表1(続き) 学生の自己評価によるコンピテンシー達成度の分布(性別)

			全員 (性別不明者28人を含む)		性別			
人数			6821		女性 6150		男性 643	
No.	質問内容	回答内容	回答数	パーセン テージ	回答数	パーセン テージ	回答数	パーセン テージ
19	対象者(対象集団)のエネルギーや栄養素の摂取の過不足を防ぐため、食事摂取基準を活用する	全くできない	70	1.0%	55	0.9%	14	2.2%
		できない	454	6.7%	395	6.4%	55	8.6%
		どちらともいえない	1937	28.4%	1723	28.0%	198	30.8%
		できる	3753	55.0%	3432	55.8%	315	49.0%
		十分にできる	602	8.8%	540	8.8%	61	9.5%
		無回答	5	0.1%	5	0.1%	0	0.0%
20	食品成分表の特性を理解し、献立作成や栄養教育に活用する	全くできない	75	1.1%	60	1.0%	15	2.3%
		できない	462	6.8%	402	6.5%	58	9.0%
		どちらともいえない	2071	30.4%	1852	30.1%	207	32.2%
		できる	3603	52.8%	3292	53.5%	300	46.7%
		十分にできる	597	8.8%	531	8.6%	63	9.8%
		無回答	13	0.2%	13	0.2%	0	0.0%
21	対象者の行動変容を促すために、行動科学の理論やモデルを活用する	全くできない	122	1.8%	96	1.6%	25	3.9%
		できない	1110	16.3%	978	15.9%	128	19.9%
		どちらともいえない	3096	45.4%	2813	45.7%	267	41.5%
		できる	2275	33.4%	2076	33.8%	196	30.5%
		十分にできる	215	3.2%	185	3.0%	27	4.2%
		無回答	3	0.0%	2	0.0%	0	0.0%
22	対象者の状況を受容し、行動変容を促すために、カウンセリングのスキルを活用する	全くできない	143	2.1%	119	1.9%	23	3.6%
		できない	1106	16.2%	975	15.9%	126	19.6%
		どちらともいえない	2914	42.7%	2666	43.3%	237	36.9%
		できる	2372	34.8%	2147	34.9%	218	33.9%
		十分にできる	284	4.2%	242	3.9%	39	6.1%
		無回答	2	0.0%	1	0.0%	0	0.0%
23	目的や対象者に応じた食事調査法を選択・実施し、アセスメントに用いる	全くできない	87	1.3%	72	1.2%	15	2.3%
		できない	895	13.1%	800	13.0%	92	14.3%
		どちらともいえない	2973	43.6%	2684	43.6%	275	42.8%
		できる	2631	38.6%	2396	39.0%	229	35.6%
		十分にできる	231	3.4%	196	3.2%	31	4.8%
		無回答	4	0.1%	2	0.0%	1	0.2%
24	対象者・喫食者の食に関する知識、態度、行動をアセスメントする	全くできない	66	1.0%	51	0.8%	14	2.2%
		できない	647	9.5%	571	9.3%	75	11.7%
		どちらともいえない	2661	39.0%	2404	39.1%	245	38.1%
		できる	3156	46.3%	2880	46.8%	266	41.4%
		十分にできる	287	4.2%	241	3.9%	43	6.7%
		無回答	4	0.1%	3	0.0%	0	0.0%
25	対象者の身体状況や目的に応じたアセスメント方法を選択し、実施する	全くできない	73	1.1%	62	1.0%	11	1.7%
		できない	908	13.3%	802	13.0%	103	16.0%
		どちらともいえない	3210	47.1%	2913	47.4%	284	44.2%
		できる	2421	35.5%	2194	35.7%	217	33.7%
		十分にできる	202	3.0%	174	2.8%	27	4.2%
		無回答	7	0.1%	5	0.1%	1	0.2%
26	血液及び尿中の代表的な生化学成分値を判定し、アセスメントに用いる	全くできない	179	2.6%	151	2.5%	27	4.2%
		できない	1121	16.4%	1023	16.6%	96	14.9%
		どちらともいえない	2607	38.2%	2369	38.5%	225	35.0%
		できる	2652	38.9%	2395	38.9%	248	38.6%
		十分にできる	259	3.8%	211	3.4%	46	7.2%
		無回答	3	0.0%	1	0.0%	1	0.2%
27	問診、カルテ、看護記録やバイタルサインなどの情報をアセスメントに活用する	全くできない	189	2.8%	161	2.6%	27	4.2%
		できない	1228	18.0%	1104	18.0%	120	18.7%
		どちらともいえない	2849	41.8%	2588	42.1%	250	38.9%
		できる	2315	33.9%	2097	34.1%	210	32.7%
		十分にできる	238	3.5%	199	3.2%	36	5.6%
		無回答	2	0.0%	1	0.0%	0	0.0%

附表1(続き) 学生の自己評価によるコンピテンシー達成度の分布(性別)

			全員		性別			
			(性別不明者28人を含む)		女性		男性	
人数			6821		6150		643	
No.	質問内容	回答内容	回答数	パーセンテージ	回答数	パーセンテージ	回答数	パーセンテージ
28	アセスメントの結果から食生活の改善すべき課題を抽出する	全くできない	64	0.9%	50	0.8%	13	2.0%
		できない	487	7.1%	427	6.9%	59	9.2%
		どちらともいえない	2210	32.4%	1975	32.1%	222	34.5%
		できる	3672	53.8%	3360	54.6%	301	46.8%
		十分にできる	386	5.7%	337	5.5%	48	7.5%
		無回答	2	0.0%	1	0.0%	0	0.0%
29	課題の中から優先順位を決定し、食生活改善のための目標を設定する	全くできない	62	0.9%	44	0.7%	17	2.6%
		できない	433	6.3%	375	6.1%	55	8.6%
		どちらともいえない	2347	34.4%	2119	34.5%	220	34.2%
		できる	3575	52.4%	3264	53.1%	298	46.3%
		十分にできる	400	5.9%	345	5.6%	53	8.2%
		無回答	4	0.1%	3	0.0%	0	0.0%
30	食生活改善のための目標の達成に向けた計画を立てる	全くできない	57	0.8%	45	0.7%	12	1.9%
		できない	442	6.5%	372	6.0%	70	10.9%
		どちらともいえない	2341	34.3%	2097	34.1%	228	35.5%
		できる	3585	52.6%	3292	53.5%	284	44.2%
		十分にできる	391	5.7%	340	5.5%	49	7.6%
		無回答	5	0.1%	4	0.1%	0	0.0%
31	対象者のライフステージやライフスタイルに応じた栄養教育を実施する	全くできない	84	1.2%	63	1.0%	20	3.1%
		できない	676	9.9%	597	9.7%	77	12.0%
		どちらともいえない	2868	42.0%	2572	41.8%	285	44.3%
		できる	2888	42.3%	2653	43.1%	226	35.1%
		十分にできる	303	4.4%	264	4.3%	35	5.4%
		無回答	2	0.0%	1	0.0%	0	0.0%
32	計画実施中や実施後の経過をモニタリングし、評価を行う	全くできない	83	1.2%	64	1.0%	17	2.6%
		できない	775	11.4%	690	11.2%	81	12.6%
		どちらともいえない	3141	46.0%	2830	46.0%	298	46.3%
		できる	2622	38.4%	2404	39.1%	213	33.1%
		十分にできる	196	2.9%	160	2.6%	33	5.1%
		無回答	4	0.1%	2	0.0%	1	0.2%
33	評価に基づき、必要な計画の見直しと修正を行う	全くできない	93	1.4%	72	1.2%	19	3.0%
		できない	777	11.4%	695	11.3%	80	12.4%
		どちらともいえない	3123	45.8%	2820	45.9%	288	44.8%
		できる	2634	38.6%	2399	39.0%	230	35.8%
		十分にできる	190	2.8%	161	2.6%	26	4.0%
		無回答	4	0.1%	3	0.0%	0	0.0%
34	疫学的な考え方にに基づき、地域のアセスメントをする	全くできない	269	3.9%	240	3.9%	27	4.2%
		できない	1959	28.7%	1799	29.3%	157	24.4%
		どちらともいえない	3380	49.6%	3072	50.0%	293	45.6%
		できる	1113	16.3%	961	15.6%	147	22.9%
		十分にできる	95	1.4%	74	1.2%	19	3.0%
		無回答	5	0.1%	4	0.1%	0	0.0%
35	地域の栄養課題を解決するのに必要な社会資源を把握する	全くできない	180	2.6%	156	2.5%	23	3.6%
		できない	1365	20.0%	1241	20.2%	122	19.0%
		どちらともいえない	3354	49.2%	3053	49.6%	283	44.0%
		できる	1766	25.9%	1572	25.6%	188	29.2%
		十分にできる	152	2.2%	125	2.0%	26	4.0%
		無回答	4	0.1%	3	0.0%	1	0.2%
36	地域の栄養課題を解決するために、ヘルスプロモーション、食環境整備の観点を含めて改善計画を立てる	全くできない	183	2.7%	154	2.5%	28	4.4%
		できない	1519	22.3%	1375	22.4%	140	21.8%
		どちらともいえない	3450	50.6%	3141	51.1%	291	45.3%
		できる	1542	22.6%	1376	22.4%	163	25.3%
		十分にできる	122	1.8%	99	1.6%	21	3.3%
		無回答	5	0.1%	5	0.1%	0	0.0%

附表1(続き) 学生の自己評価によるコンピテンシー達成度の分布(性別)

			全員		性別			
			(性別不明者28人を含む)		女性		男性	
人数			6821		6150		643	
No.	質問内容	回答内容	回答数	パーセンテージ	回答数	パーセンテージ	回答数	パーセンテージ
37	医療における専門職種 の役割を理解し、管理栄養士 の役割について説明を行う	全くできない	140	2.1%	109	1.8%	29	4.5%
		できない	858	12.6%	761	12.4%	93	14.5%
		どちらともいえない	2728	40.0%	2492	40.5%	224	34.8%
		できる	2781	40.8%	2521	41.0%	253	39.3%
		十分にできる	311	4.6%	264	4.3%	44	6.8%
		無回答	3	0.0%	3	0.0%	0	0.0%
38	患者の病状や栄養状態に 応じた献立作成や食事形 態の提案を行う	全くできない	125	1.8%	100	1.6%	24	3.7%
		できない	861	12.6%	761	12.4%	98	15.2%
		どちらともいえない	2703	39.6%	2454	39.9%	234	36.4%
		できる	2853	41.8%	2599	42.3%	247	38.4%
		十分にできる	275	4.0%	234	3.8%	39	6.1%
		無回答	4	0.1%	2	0.0%	1	0.2%
39	患者の病状や栄養状態に 応じた栄養指導を行う	全くできない	162	2.4%	136	2.2%	24	3.7%
		できない	1044	15.3%	940	15.3%	99	15.4%
		どちらともいえない	2982	43.7%	2730	44.4%	241	37.5%
		できる	2384	35.0%	2135	34.7%	243	37.8%
		十分にできる	244	3.6%	207	3.4%	34	5.3%
		無回答	5	0.1%	2	0.0%	2	0.3%
40	多数の人々への食事提供 (発注、購買、検収、保管、 大量調理、衛生管理等)を 行う	全くできない	205	3.0%	171	2.8%	30	4.7%
		できない	996	14.6%	895	14.6%	99	15.4%
		どちらともいえない	2831	41.5%	2556	41.6%	264	41.1%
		できる	2432	35.7%	2218	36.1%	207	32.2%
		十分にできる	348	5.1%	304	4.9%	42	6.5%
		無回答	9	0.1%	6	0.1%	1	0.2%

附表2 学生の基礎データ

			全員	
			人数	6821
No.	質問内容	回答内容	回答数	パーセンテージ
41	年齢をお答えください	21-25歳	6666	97.7%
		26-30歳	72	1.1%
		31-35歳	39	0.6%
		36-40歳	17	0.2%
		41歳以上	14	0.2%
		無回答	13	0.2%
42	性別をお答えください	女性	6150	90.2%
		男性	643	9.4%
		無回答	28	0.4%
43	入学前に、他の大学・短期大学・専門学校等を卒業していますか	はい	323	4.7%
		いいえ	6457	94.7%
		無回答	41	0.6%
44	入学前に、社会人の経験がありますか	はい	145	2.1%
		いいえ	6349	93.1%
		無回答	327	4.8%
45	社会人経験者(44で「はい」とお答えの方)におたずねします。栄養士で就職していましたか	はい	29	20.0%
		いいえ	95	65.5%
		無回答	21	14.5%
		合計	145	100.0%
46	H23年4月卒業見込ですか	はい	6641	97.4%
		いいえ	89	1.3%
		無回答	91	1.3%
47	卒業研究を行いましたか。または、行っていますか	はい	4968	72.8%
		いいえ	1598	23.4%
		無回答	255	3.7%
48	H23年4月に国家試験を受験する予定ですか	はい	6213	91.1%
		いいえ	305	4.5%
		無回答	303	4.4%



附表2(続き) 学生の基礎データ

No.	質問内容	回答内容	全員	
			人数	パーセンテージ
				6821
49	卒業後の進路をお答えください	就職(内定)	3704	54.3%
		就職(未定)	2102	30.8%
		進学(内定)	268	3.9%
		進学(未定)	75	1.1%
		その他	155	2.3%
		無回答	517	7.6%

50	進学(内定)の方におたずねします。あなたの進学先をひとつマークしてください	大学院(栄養関連分野)	187	69.8%
		大学院(上記以外)	35	13.1%
		他大学(上記以外)	13	4.9%
		専門学校(上記以外)	25	9.3%
		その他	2	0.7%
		無回答	6	2.2%
		合計	268	100.0%

51	就職(内定)の方におたずねします。採用条件となる免許は次のどれですか	管理栄養士免許	1233	33.3%
		栄養士免許	1277	34.5%
		どちらでもない	1031	27.8%
		不明	54	1.5%
		無回答	109	2.9%
		合計	3704	100.0%

52	就職(内定)の方におたずねします。あなたが勤務する予定の職場を下からひとつ選び、52～54のマークシート欄に、記入例にならって記入してください	行政(保育所・保健センターなど)	31	0.8%
		病院(病院・医院・老健など)、検診センター	539	14.6%
		学校(幼稚園・学校・給食センターなど)	213	5.8%
		企業または事務所(従業員の健康管理など)	34	0.9%
		給食受託企業(給食会社)	893	24.1%
		高齢者福祉施設(老人ホーム・デイサービスセンターなど)	275	7.4%
		児童福祉施設(保育所など)	215	5.8%
		障がい者施設(心身障がい児施設・身体障がい者療護施設など)	32	0.9%
		その他の福祉施設	16	0.4%
		企業(栄養や食品に関連がある仕事)	643	17.4%
		企業(製薬会社・薬局など)	298	8.0%
		企業(上記以外)	211	5.7%
		起業	3	0.1%
		自営	10	0.3%
		研究教育(管理栄養士・栄養士養成施設)	17	0.5%
		研究教育(管理栄養士・栄養士養成施設以外)	3	0.1%
		研究機関	3	0.1%
		配属先未定(公務員)	106	2.9%
		配属先未定(公務員以外)	37	1.0%
		その他	91	2.5%
		無回答	34	0.9%
		合計	3704	100.0%

教員のデータ

附表3 学生のコンピテンシー到達度に関する教員の評価の分布(担当科目別)

			全員		教員の担当科目別							
			(担当科目不明者 8人を含む)		栄養教育論		臨床栄養学		公衆栄養学		給食経営管理論	
人数			372		91		92		92		89	
No.	質問内容	回答内容	回答数	パーセン テージ	回答数	パーセン テージ	回答数	パーセン テージ	回答数	パーセン テージ	回答数	パーセン テージ
1	コミュニケーション によって、良好な 人間関係やネット ワークを築く	ほぼ全員ができない	2	0.5%	1	1.1%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
		かなりの学生ができない	13	3.5%	3	3.3%	3	3.3%	2	2.2%	5	5.6%
		約半数の学生ができる	86	23.1%	24	26.4%	24	26.1%	18	19.6%	19	21.3%
		かなりの学生ができる	191	51.3%	45	49.5%	46	50.0%	48	52.2%	45	50.6%
		ほぼ全員ができる	80	21.5%	18	19.8%	18	19.6%	24	26.1%	20	22.5%
		無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2	自分に与えられた 役割を認識し、他 の職種と相互理解 しながら協働する	ほぼ全員ができない	2	0.5%	0	0.0%	1	1.1%	1	1.1%	0	0.0%
		かなりの学生ができない	35	9.4%	12	13.2%	10	10.9%	5	5.4%	8	9.0%
		約半数の学生ができる	122	32.8%	31	34.1%	31	33.7%	33	35.9%	25	28.1%
		かなりの学生ができる	172	46.2%	38	41.8%	44	47.8%	38	41.3%	46	51.7%
		ほぼ全員ができる	38	10.2%	10	11.0%	6	6.5%	13	14.1%	9	10.1%
		無回答	3	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.2%	1	1.1%
3	患者・クライエン ト・住民への倫理 的配慮(人権の尊 重、インフォームド コンセント、個人情 報保護)を行う	ほぼ全員ができない	7	1.9%	3	3.3%	1	1.1%	0	0.0%	3	3.4%
		かなりの学生ができない	40	10.8%	7	7.7%	10	10.9%	14	15.2%	7	7.9%
		約半数の学生ができる	106	28.5%	29	31.9%	24	26.1%	24	26.1%	27	30.3%
		かなりの学生ができる	128	34.4%	30	33.0%	33	35.9%	29	31.5%	32	36.0%
		ほぼ全員ができる	86	23.1%	22	24.2%	24	26.1%	22	23.9%	18	20.2%
		無回答	5	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.3%	2	2.2%
4	健康・栄養に関す る統計情報を収集 し、現状を把握す る	ほぼ全員ができない	3	0.8%	1	1.1%	1	1.1%	1	1.1%	0	0.0%
		かなりの学生ができない	49	13.2%	16	17.6%	16	17.4%	7	7.6%	9	10.1%
		約半数の学生ができる	154	41.4%	33	36.3%	38	41.3%	40	43.5%	41	46.1%
		かなりの学生ができる	126	33.9%	28	30.8%	27	29.3%	35	38.0%	31	34.8%
		ほぼ全員ができる	40	10.8%	13	14.3%	10	10.9%	9	9.8%	8	9.0%
		無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5	関連分野の論文・ 報告書などからエ ビデンスに基づく 情報を入手し、活 用する	ほぼ全員ができない	16	4.3%	4	4.4%	6	6.5%	3	3.3%	3	3.4%
		かなりの学生ができない	99	26.6%	29	31.9%	22	23.9%	25	27.2%	21	23.6%
		約半数の学生ができる	136	36.6%	27	29.7%	33	35.9%	34	37.0%	39	43.8%
		かなりの学生ができる	91	24.5%	22	24.2%	24	26.1%	24	26.1%	18	20.2%
		ほぼ全員ができる	29	7.8%	9	9.9%	7	7.6%	5	5.4%	8	9.0%
		無回答	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%
6	社会における医 療・栄養問題や食 料・環境問題に関 する情報を集める	ほぼ全員ができない	4	1.1%	1	1.1%	1	1.1%	1	1.1%	1	1.1%
		かなりの学生ができない	43	11.6%	13	14.3%	18	19.6%	5	5.4%	6	6.7%
		約半数の学生ができる	114	30.6%	21	23.1%	30	32.6%	32	34.8%	29	32.6%
		かなりの学生ができる	143	38.4%	36	39.6%	30	32.6%	33	35.9%	39	43.8%
		ほぼ全員ができる	67	18.0%	20	22.0%	13	14.1%	21	22.8%	13	14.6%
		無回答	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%
7	個人や地域の栄 養課題の解決の ために、調査研究 を計画・実施する	ほぼ全員ができない	19	5.1%	7	7.7%	5	5.4%	4	4.3%	3	3.4%
		かなりの学生ができない	111	29.8%	29	31.9%	29	31.5%	26	28.3%	26	29.2%
		約半数の学生ができる	135	36.3%	25	27.5%	35	38.0%	39	42.4%	31	34.8%
		かなりの学生ができる	88	23.7%	26	28.6%	21	22.8%	20	21.7%	19	21.3%
		ほぼ全員ができる	17	4.6%	4	4.4%	2	2.2%	2	2.2%	9	10.1%
		無回答	2	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	1	1.1%
8	調査研究により得 られたデータにつ いて、適切な集 計・統計方法を選 択し、解析する	ほぼ全員ができない	29	7.8%	11	12.1%	10	10.9%	4	4.3%	4	4.5%
		かなりの学生ができない	111	29.8%	32	35.2%	23	25.0%	27	29.3%	28	31.5%
		約半数の学生ができる	147	39.5%	29	31.9%	39	42.4%	38	41.3%	36	40.4%
		かなりの学生ができる	71	19.1%	16	17.6%	17	18.5%	20	21.7%	16	18.0%
		ほぼ全員ができる	11	3.0%	3	3.3%	2	2.2%	2	2.2%	4	4.5%
		無回答	3	0.8%	0	0.0%	1	1.1%	1	1.1%	1	1.1%
9	人体のエネルギー バランスや各栄養 素の働きや代謝を 理解し、説明を行 う	ほぼ全員ができない	3	0.8%	1	1.1%	1	1.1%	0	0.0%	1	1.1%
		かなりの学生ができない	24	6.5%	6	6.6%	6	6.5%	8	8.7%	4	4.5%
		約半数の学生ができる	140	37.6%	31	34.1%	36	39.1%	33	35.9%	35	39.3%
		かなりの学生ができる	156	41.9%	41	45.1%	40	43.5%	33	35.9%	39	43.8%
		ほぼ全員ができる	43	11.6%	12	13.2%	8	8.7%	14	15.2%	9	10.1%
		無回答	6	1.6%	0	0.0%	1	1.1%	4	4.3%	1	1.1%
10	食品成分・特性に ついて理解し、献 立作成や調理を行 う	ほぼ全員ができない	2	0.5%	1	1.1%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
		かなりの学生ができない	16	4.3%	6	6.6%	5	5.4%	1	1.1%	4	4.5%
		約半数の学生ができる	98	26.3%	20	22.0%	27	29.3%	24	26.1%	24	27.0%
		かなりの学生ができる	177	47.6%	44	48.4%	42	45.7%	43	46.7%	43	48.3%
		ほぼ全員ができる	73	19.6%	19	20.9%	17	18.5%	19	20.7%	18	20.2%
		無回答	6	1.6%	1	1.1%	0	0.0%	5	5.4%	0	0.0%

附表3(続き) 学生のコンピテンシー到達度に関する教員の評価の分布(担当科目別)

No.	質問内容	回答内容	全員 (主担当科目不明者 8人を含む)		教員の担当科目別							
			人数		91		92		92		89	
			回答数	パーセン テージ	回答数	パーセン テージ	回答数	パーセン テージ	回答数	パーセン テージ	回答数	パーセン テージ
11	対象者のライフス テージ・ライフス タイル・嗜好・摂食 機能等に応じた献 立を作成する	ほぼ全員ができない	2	0.5%	0	0.0%	1	1.1%	1	1.1%	0	0.0%
		かなりの学生ができない	23	6.2%	8	8.8%	5	5.4%	3	3.3%	6	6.7%
		約半数の学生ができる	135	36.3%	32	35.2%	40	43.5%	32	34.8%	29	32.6%
		かなりの学生ができる	151	40.6%	36	39.6%	30	32.6%	38	41.3%	42	47.2%
		ほぼ全員ができる	55	14.8%	14	15.4%	16	17.4%	13	14.1%	12	13.5%
		無回答	6	1.6%	1	1.1%	0	0.0%	5	5.4%	0	0.0%
12	食中毒予防など、 適切な衛生管理を 行う	ほぼ全員ができない	1	0.3%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
		かなりの学生ができない	14	3.8%	7	7.7%	2	2.2%	4	4.3%	1	1.1%
		約半数の学生ができる	63	16.9%	22	24.2%	14	15.2%	15	16.3%	10	11.2%
		かなりの学生ができる	181	48.7%	34	37.4%	50	54.3%	46	50.0%	45	50.6%
		ほぼ全員ができる	107	28.8%	27	29.7%	25	27.2%	22	23.9%	33	37.1%
		無回答	6	1.6%	1	1.1%	0	0.0%	5	5.4%	0	0.0%
13	食品の規格基準、 安全に関する法規 や制度を理解し、 健康被害を防止す るための説明を行 う	ほぼ全員ができない	5	1.3%	3	3.3%	0	0.0%	2	2.2%	0	0.0%
		かなりの学生ができない	51	13.7%	13	14.3%	11	12.0%	13	14.1%	12	13.5%
		約半数の学生ができる	163	43.8%	41	45.1%	42	45.7%	39	42.4%	40	44.9%
		かなりの学生ができる	126	33.9%	29	31.9%	33	35.9%	28	30.4%	31	34.8%
		ほぼ全員ができる	20	5.4%	5	5.5%	4	4.3%	6	6.5%	5	5.6%
		無回答	7	1.9%	0	0.0%	2	2.2%	4	4.3%	1	1.1%
14	保健・医療・福祉・ 健康づくりに関す る法規や制度の 現状を把握する	ほぼ全員ができない	3	0.8%	1	1.1%	0	0.0%	2	2.2%	0	0.0%
		かなりの学生ができない	45	12.1%	15	16.5%	8	8.7%	9	9.8%	11	12.4%
		約半数の学生ができる	128	34.4%	26	28.6%	30	32.6%	36	39.1%	35	39.3%
		かなりの学生ができる	158	42.5%	37	40.7%	46	50.0%	33	35.9%	37	41.6%
		ほぼ全員ができる	33	8.9%	12	13.2%	6	6.5%	10	10.9%	5	5.6%
		無回答	5	1.3%	0	0.0%	2	2.2%	2	2.2%	1	1.1%
15	対象者(対象集 団)のエネルギー や栄養素の摂取 の過不足を防ぐた め、食事摂取基準 を活用する	ほぼ全員ができない	2	0.5%	1	1.1%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%
		かなりの学生ができない	25	6.7%	6	6.6%	8	8.7%	6	6.5%	4	4.5%
		約半数の学生ができる	102	27.4%	26	28.6%	19	20.7%	29	31.5%	25	28.1%
		かなりの学生ができる	188	50.5%	43	47.3%	51	55.4%	45	48.9%	45	50.6%
		ほぼ全員ができる	54	14.5%	15	16.5%	14	15.2%	10	10.9%	15	16.9%
		無回答	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%
16	食品成分表の特 性を理解し、献立 作成や栄養教育 に活用する	ほぼ全員ができない	4	1.1%	1	1.1%	2	2.2%	1	1.1%	0	0.0%
		かなりの学生ができない	16	4.3%	6	6.6%	3	3.3%	6	6.5%	1	1.1%
		約半数の学生ができる	89	23.9%	20	22.0%	24	26.1%	18	19.6%	24	27.0%
		かなりの学生ができる	179	48.1%	41	45.1%	45	48.9%	43	46.7%	45	50.6%
		ほぼ全員ができる	77	20.7%	23	25.3%	17	18.5%	18	19.6%	19	21.3%
		無回答	7	1.9%	0	0.0%	1	1.1%	6	6.5%	0	0.0%
17	対象者の行動変 容を促すために、 行動科学の理論 やモデルを活用す る	ほぼ全員ができない	9	2.4%	2	2.2%	2	2.2%	3	3.3%	2	2.2%
		かなりの学生ができない	72	19.4%	17	18.7%	14	15.2%	20	21.7%	17	19.1%
		約半数の学生ができる	157	42.2%	38	41.8%	41	44.6%	36	39.1%	41	46.1%
		かなりの学生ができる	107	28.8%	25	27.5%	27	29.3%	26	28.3%	26	29.2%
		ほぼ全員ができる	23	6.2%	9	9.9%	8	8.7%	5	5.4%	1	1.1%
		無回答	4	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.2%	2	2.2%
18	対象者の状況を 受容し、行動変容 を促すために、カ ウンセリングのス キルを活用する	ほぼ全員ができない	13	3.5%	1	1.1%	4	4.3%	6	6.5%	2	2.2%
		かなりの学生ができない	69	18.5%	17	18.7%	12	13.0%	17	18.5%	19	21.3%
		約半数の学生ができる	156	41.9%	36	39.6%	43	46.7%	33	35.9%	42	47.2%
		かなりの学生ができる	108	29.0%	29	31.9%	27	29.3%	28	30.4%	22	24.7%
		ほぼ全員ができる	18	4.8%	7	7.7%	6	6.5%	4	4.3%	1	1.1%
		無回答	8	2.2%	1	1.1%	0	0.0%	4	4.3%	3	3.4%
19	目的や対象者に 応じた食事調査法 を選択・実施し、ア セスメントに用いる	ほぼ全員ができない	10	2.7%	2	2.2%	3	3.3%	4	4.3%	1	1.1%
		かなりの学生ができない	43	11.6%	9	9.9%	6	6.5%	12	13.0%	16	18.0%
		約半数の学生ができる	139	37.4%	32	35.2%	39	42.4%	35	38.0%	28	31.5%
		かなりの学生ができる	139	37.4%	39	42.9%	32	34.8%	30	32.6%	35	39.3%
		ほぼ全員ができる	37	9.9%	9	9.9%	12	13.0%	10	10.9%	6	6.7%
		無回答	4	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	3	3.4%
20	対象者・喫食者の 食に関する知識、 態度、行動をアセ スメントする	ほぼ全員ができない	2	0.5%	1	1.1%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%
		かなりの学生ができない	36	9.7%	11	12.1%	8	8.7%	7	7.6%	8	9.0%
		約半数の学生ができる	148	39.8%	33	36.3%	39	42.4%	38	41.3%	36	40.4%
		かなりの学生ができる	135	36.3%	37	40.7%	26	28.3%	33	35.9%	35	39.3%
		ほぼ全員ができる	46	12.4%	9	9.9%	18	19.6%	10	10.9%	9	10.1%
		無回答	5	1.3%	0	0.0%	1	1.1%	3	3.3%	1	1.1%

附表3(続き) 学生のコンピテンシー到達度に関する教員の評価の分布(主担当科目別)

			全員		教員の担当科目別							
			(主担当科目不明者 8人を含む)		栄養教育論		臨床栄養学		公衆栄養学		給食経営管理論	
			人数		372		91		92		92	
No.	質問内容	回答内容	回答数	パーセン テージ	回答数	パーセン テージ	回答数	パーセン テージ	回答数	パーセン テージ	回答数	パーセン テージ
21	対象者の身体状 況や目的に応じた アセスメント方法を 選択し、実施する	ほぼ全員ができない	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%
		かなりの学生ができない	49	13.2%	15	16.5%	9	9.8%	12	13.0%	12	13.5%
		約半数の学生ができる	141	37.9%	34	37.4%	28	30.4%	36	39.1%	38	42.7%
		かなりの学生ができる	136	36.6%	32	35.2%	41	44.6%	30	32.6%	31	34.8%
		ほぼ全員ができる	40	10.8%	9	9.9%	14	15.2%	11	12.0%	6	6.7%
		無回答	5	1.3%	1	1.1%	0	0.0%	2	2.2%	2	2.2%
22	血液及び尿中の 代表的な生化学 成分値を判定し、 アセスメントに用 いる	ほぼ全員ができない	2	0.5%	1	1.1%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%
		かなりの学生ができない	34	9.1%	11	12.1%	5	5.4%	6	6.5%	10	11.2%
		約半数の学生ができる	121	32.5%	27	29.7%	26	28.3%	38	41.3%	28	31.5%
		かなりの学生ができる	159	42.7%	38	41.8%	45	48.9%	31	33.7%	41	46.1%
		ほぼ全員ができる	48	12.9%	13	14.3%	16	17.4%	13	14.1%	6	6.7%
		無回答	8	2.2%	1	1.1%	0	0.0%	3	3.3%	4	4.5%
23	問診、カルテ、看 護記録やバイタル サインなどの情報 をアセスメントに活 用する	ほぼ全員ができない	7	1.9%	2	2.2%	0	0.0%	4	4.3%	1	1.1%
		かなりの学生ができない	61	16.4%	15	16.5%	14	15.2%	14	15.2%	16	18.0%
		約半数の学生ができる	142	38.2%	36	39.6%	26	28.3%	37	40.2%	40	44.9%
		かなりの学生ができる	127	34.1%	33	36.3%	41	44.6%	23	25.0%	27	30.3%
		ほぼ全員ができる	25	6.7%	4	4.4%	11	12.0%	9	9.8%	1	1.1%
		無回答	10	2.7%	1	1.1%	0	0.0%	5	5.4%	4	4.5%
24	アセスメントの結 果から食生活の改 善すべき課題を抽 出する	ほぼ全員ができない	2	0.5%	1	1.1%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%
		かなりの学生ができない	27	7.3%	10	11.0%	4	4.3%	4	4.3%	8	9.0%
		約半数の学生ができる	117	31.5%	22	24.2%	25	27.2%	33	35.9%	35	39.3%
		かなりの学生ができる	167	44.9%	43	47.3%	45	48.9%	40	43.5%	34	38.2%
		ほぼ全員ができる	56	15.1%	15	16.5%	18	19.6%	14	15.2%	9	10.1%
		無回答	3	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.4%
25	課題の中から優先 順位を決定し、食 生活改善のため の目標を設定する	ほぼ全員ができない	2	0.5%	1	1.1%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%
		かなりの学生ができない	33	8.9%	9	9.9%	7	7.6%	9	9.8%	7	7.9%
		約半数の学生ができる	120	32.3%	28	30.8%	28	30.4%	26	28.3%	35	39.3%
		かなりの学生ができる	158	42.5%	36	39.6%	41	44.6%	41	44.6%	36	40.4%
		ほぼ全員ができる	56	15.1%	17	18.7%	16	17.4%	15	16.3%	8	9.0%
		無回答	3	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.4%
26	食生活改善のため の目標の達成 に向けた計画を立 てる	ほぼ全員ができない	4	1.1%	2	2.2%	1	1.1%	1	1.1%	0	0.0%
		かなりの学生ができない	27	7.3%	6	6.6%	7	7.6%	5	5.4%	8	9.0%
		約半数の学生ができる	126	33.9%	35	38.5%	20	21.7%	31	33.7%	37	41.6%
		かなりの学生ができる	164	44.1%	36	39.6%	47	51.1%	46	50.0%	31	34.8%
		ほぼ全員ができる	48	12.9%	12	13.2%	17	18.5%	9	9.8%	10	11.2%
		無回答	3	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.4%
27	対象者のライフス タイルやライフス タイルに応じた栄 養教育を実施する	ほぼ全員ができない	3	0.8%	1	1.1%	0	0.0%	1	1.1%	1	1.1%
		かなりの学生ができない	23	6.2%	8	8.8%	6	6.5%	5	5.4%	4	4.5%
		約半数の学生ができる	121	32.5%	26	28.6%	31	33.7%	30	32.6%	30	33.7%
		かなりの学生ができる	159	42.7%	36	39.6%	37	40.2%	44	47.8%	38	42.7%
		ほぼ全員ができる	63	16.9%	20	22.0%	18	19.6%	12	13.0%	13	14.6%
		無回答	3	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.4%
28	計画実施中や実 施後の経過をモニ タリングし、評価を 行う	ほぼ全員ができない	7	1.9%	1	1.1%	2	2.2%	3	3.3%	1	1.1%
		かなりの学生ができない	51	13.7%	18	19.8%	7	7.6%	13	14.1%	12	13.5%
		約半数の学生ができる	152	40.9%	34	37.4%	38	41.3%	40	43.5%	36	40.4%
		かなりの学生ができる	126	33.9%	27	29.7%	34	37.0%	28	30.4%	34	38.2%
		ほぼ全員ができる	33	8.9%	11	12.1%	11	12.0%	7	7.6%	4	4.5%
		無回答	3	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	2	2.2%
29	評価に基づき、必 要な計画の見直し と修正を行う	ほぼ全員ができない	7	1.9%	1	1.1%	4	4.3%	2	2.2%	0	0.0%
		かなりの学生ができない	62	16.7%	17	18.7%	11	12.0%	17	18.5%	15	16.9%
		約半数の学生ができる	158	42.5%	40	44.0%	34	37.0%	37	40.2%	42	47.2%
		かなりの学生ができる	112	30.1%	23	25.3%	34	37.0%	29	31.5%	25	28.1%
		ほぼ全員ができる	31	8.3%	10	11.0%	9	9.8%	6	6.5%	6	6.7%
		無回答	2	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	1	1.1%
30	疫学的な考え方 に基づき、地域の アセスメントをする	ほぼ全員ができない	17	4.6%	10	11.0%	5	5.4%	1	1.1%	1	1.1%
		かなりの学生ができない	102	27.4%	27	29.7%	17	18.5%	31	33.7%	24	27.0%
		約半数の学生ができる	155	41.7%	33	36.3%	43	46.7%	37	40.2%	39	43.8%
		かなりの学生ができる	86	23.1%	18	19.8%	24	26.1%	20	21.7%	22	24.7%
		ほぼ全員ができる	6	1.6%	2	2.2%	1	1.1%	3	3.3%	0	0.0%
		無回答	6	1.6%	1	1.1%	2	2.2%	0	0.0%	3	3.4%

附表3(続き) 学生のコンピテンシー到達度に関する教員の評価の分布(担当科目別)

			全員		教員の担当科目別							
			(担当科目不明者 8人を含む)		栄養教育論		臨床栄養学		公衆栄養学		給食経営管理論	
人数			372		91		92		92		89	
No.	質問内容	回答内容	回答数	パーセン テージ	回答数	パーセン テージ	回答数	パーセン テージ	回答数	パーセン テージ	回答数	パーセン テージ
31	地域の栄養課題を解決するのに必要な社会資源を把握する	ほぼ全員ができない	13	3.5%	4	4.4%	6	6.5%	1	1.1%	2	2.2%
		かなりの学生ができない	79	21.2%	26	28.6%	20	21.7%	10	10.9%	20	22.5%
		約半数の学生ができる	157	42.2%	33	36.3%	35	38.0%	46	50.0%	41	46.1%
		かなりの学生ができる	99	26.6%	24	26.4%	25	27.2%	26	28.3%	21	23.6%
		ほぼ全員ができる	16	4.3%	3	3.3%	3	3.3%	8	8.7%	2	2.2%
		無回答	8	2.2%	1	1.1%	3	3.3%	1	1.1%	3	3.4%
32	地域の栄養課題を解決するために、ヘルスプロモーション、食環境整備の観点を含めて改善計画を立てる	ほぼ全員ができない	17	4.6%	8	8.8%	6	6.5%	1	1.1%	2	2.2%
		かなりの学生ができない	83	22.3%	26	28.6%	17	18.5%	17	18.5%	21	23.6%
		約半数の学生ができる	164	44.1%	39	42.9%	46	50.0%	36	39.1%	39	43.8%
		かなりの学生ができる	90	24.2%	13	14.3%	20	21.7%	31	33.7%	24	27.0%
		ほぼ全員ができる	11	3.0%	4	4.4%	1	1.1%	6	6.5%	0	0.0%
		無回答	7	1.9%	1	1.1%	2	2.2%	1	1.1%	3	3.4%
33	医療における専門職種の役割を理解し、管理栄養士の役割について説明を行う	ほぼ全員ができない	4	1.1%	1	1.1%	1	1.1%	1	1.1%	0	0.0%
		かなりの学生ができない	36	9.7%	13	14.3%	7	7.6%	9	9.8%	7	7.9%
		約半数の学生ができる	106	28.5%	27	29.7%	18	19.6%	26	28.3%	31	34.8%
		かなりの学生ができる	150	40.3%	33	36.3%	39	42.4%	39	42.4%	36	40.4%
		ほぼ全員ができる	68	18.3%	16	17.6%	27	29.3%	12	13.0%	13	14.6%
		無回答	8	2.2%	1	1.1%	0	0.0%	5	5.4%	2	2.2%
34	患者の病状や栄養状態に応じた献立作成や食事形態の提案を行う	ほぼ全員ができない	5	1.3%	0	0.0%	2	2.2%	2	2.2%	0	0.0%
		かなりの学生ができない	26	7.0%	8	8.8%	4	4.3%	6	6.5%	8	9.0%
		約半数の学生ができる	126	33.9%	36	39.6%	24	26.1%	29	31.5%	35	39.3%
		かなりの学生ができる	162	43.5%	34	37.4%	48	52.2%	41	44.6%	34	38.2%
		ほぼ全員ができる	46	12.4%	12	13.2%	14	15.2%	9	9.8%	11	12.4%
		無回答	7	1.9%	1	1.1%	0	0.0%	5	5.4%	1	1.1%
35	患者の病状や栄養状態に応じた栄養指導を行う	ほぼ全員ができない	7	1.9%	1	1.1%	2	2.2%	3	3.3%	0	0.0%
		かなりの学生ができない	39	10.5%	13	14.3%	8	8.7%	8	8.7%	9	10.1%
		約半数の学生ができる	132	35.5%	36	39.6%	29	31.5%	32	34.8%	33	37.1%
		かなりの学生ができる	142	38.2%	28	30.8%	36	39.1%	39	42.4%	35	39.3%
		ほぼ全員ができる	42	11.3%	12	13.2%	16	17.4%	6	6.5%	8	9.0%
		無回答	10	2.7%	1	1.1%	1	1.1%	4	4.3%	4	4.5%
36	多数の人々への食事提供(発注、購買、検収、保管、大量調理、衛生管理等)を行う	ほぼ全員ができない	2	0.5%	0	0.0%	1	1.1%	1	1.1%	0	0.0%
		かなりの学生ができない	19	5.1%	6	6.6%	5	5.4%	6	6.5%	2	2.2%
		約半数の学生ができる	85	22.8%	31	34.1%	22	23.9%	20	21.7%	12	13.5%
		かなりの学生ができる	167	44.9%	32	35.2%	39	42.4%	42	45.7%	46	51.7%
		ほぼ全員ができる	76	20.4%	19	20.9%	17	18.5%	14	15.2%	26	29.2%
		無回答	23	6.2%	3	3.3%	8	8.7%	9	9.8%	3	3.4%